



小倉ロータリークラブ 週報

R I テーマ：“人類に奉仕するロータリー”

R I 会長：ジョン F. ジャーム 氏
(所属：チャタヌガ RC)

地区テーマ：“基本に戻って、 魅力あるロータリーに”

地区ガバナー：富田 英壽 氏(所属：甘木 RC)

クラブテーマ：“魅力あるロータリーに”

会長 伊与田 修 / 幹事 松永 浩



表紙写真説明(テーマ/MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島)

2017年4月25日の広島対巨人戦は、西チームのエース菅野と野村の見事な投手戦となりました。1点差を追う広島の、7回裏の赤い風船の乱舞をスーパー・ボックスから撮影しました。

【撮影：辰巳会員 MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島にて】

例会場 リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093 (531) 1121

《報告に関して、敬称略》

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 e-MAIL : krpc@rid27.jp

事務局 北九州市小倉北区浅野2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉2F TEL (531) 1727 FAX (522) 4333

会報・雑誌 委員会 委員長：佐久間 康和

委員：森 浩明・板井 清記・成沢 裕・渡邊 昌春・井手 孝幸

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



本日の例会 第3313回

- ・国歌斉唱
- ・ロータリーソング “奉仕の理想”
- ・クラブ協議会 No.1

第3312回 例会 記録

5月26日（金）普通例会

- ・ロータリーソング “我らの生業”
- ・会員卓話 九州旅客鉄道（株）

常務取締役鉄道事業本部長兼北部九州地域本社長
古宮 洋二 氏

福島喜三次は帰国後大阪勤務になったため、1922年の大阪RC設立にも関わりました。さて、2020年は日本のRCにとって100周年の記念すべき年です。2020年は東京オリンピック、パラリンピックの開催年にもあたりますが、この100周年に向けての準備はもう始まっています。具体的な内容は未定ですが、100周年に立ち会えるのは貴重な経験になると思います。皆様も心に止めておかけ下さい。

出席報告

原田（鉄） 委員

2016年7月1日：64名でスタート

	会員数	出席者数	メークアップ	出席率
当日の出席	66名	28名	—	50.00%
先週の出席	66名	32名	29名	91.38% 修正後

◆ゲスト 0名

◆ビジター 1名

・中村 隼人 氏（九州旅客鉄道（株））

会長の時間

伊与田 修 会長

日本で初めてのRCは、1920年に米山梅吉等によって設立されました。東京RC設立の経緯は、使節団の一員として訪米していた米山梅吉が、当時ダラスRCに在籍していた福島喜三次と出会い、例会に出席しました。そしてロータリー精神にいたく感動し、帰国後設立に動きました。福島喜三次、そしてダラスRC会長が国際RCへの橋渡しを行い、無事に設立にこぎつけました。

幹事報告

松永 幹事

・山中会員が5月20日に、お亡くなりになりました。当クラブ歴は、40年4か月でした。葬儀は既に済んでいます。ご冥福をお祈りします。

新会員紹介

やまぐち こうのすけ
山口 幸之助 氏

推薦者 大迫 益男 会員
辰巳 和正 会員

生年月日

本籍

職業 西部ガス(株)

執行役員北九州支社長

職業区分 341 ガス業



【山口氏：挨拶】

北九州は非常に縁がありまして、今回で4回目の北九州勤務になります。名誉と伝統のある小倉RCに入会でき光栄に思っています。RCは初めてで分からぬことばかりですので、皆様どうぞよろしくお願ひします。

ニコニコ献金

坪根 SAA

11,000円 : 累計金額 578,170円

松石 権己 君

先日の洗心会、遅刻しました。申し訳ございません。今後は気を付けます。

親睦活動委員会

洗心会で余ったお酒の販売収益をニコニコします。

会員卓話

九州旅客鉄道(株)

常務取締役鉄道事業本部長兼北部九州地域本社長

古宮 洋二 氏

「ななつ星 in 九州 誕生の“裏話”」



弊社、現会長の唐池と水戸岡デザイナーは、それぞれ20年くらい前から、「九州を1周するような列車をつくりたい」という思いがあった。ある日、二人が雑談をしているとき、どちらからともなく“その話”が出て、『やろう』と一緒に盛り上がりていった。

私が運輸部長をしていた平成22年4月、当時社長の唐池から社長室に呼ばれ、九州を1周する列車について聞かれたが、私は反対した。その後、様々な新聞や雑誌には“古宮は反対の急先鋒”と書かれています(笑)。5月になり、社長から韓国に連れて行かれ“ヘラン”という韓国のクルーズ列車に乗った。そして、6月から営業部長にする旨を言われた。実は「営業部長=プロジェクトの責任者」だった。ところが、目の前にあったのは、来年の3月に控えた「九州新幹線全線開業+博多駅ビル開業」という2大プロジェクトだった。当然、クルーズ列車の作業は後回しとなってしまった。

2大プロジェクト終了後の5月から、そろそろ手をつけないと怒られるなどと思い、作業を始めたが、日本には前例もなく、何から始めていいか…という日々が過ぎた。プロジェクトチームを作り、まず、高額旅行を取扱っている会社や、サービスで有名な旅館視察、海外のクルーズ列車の試乗から始めたが、雲をつかむような日々だった。

コンセプトは? 愛称名は? …。これだけでも、数週間以上、議論した記憶がある。次は、車両は何両編成で、どんな部屋にするの? コースは何日? どこに行くの? 値段は? …。課題は山ほど、解決の糸口もなかなか見つけられない日々だった。特に値段については、我々には解らない高額旅行。九州と東京の感覚の違い…、悩みました。そこに救世主が現れた。東京日本橋にある三越百貨店旅行部の方のコメントである。「どんどん高くしてください。値段は高いほうがいいのです」。この言葉で、このプロジェクトが一気に加速していった。

運行の体制をつくるため組織を立ち上げ、社内外からのクルーを募集、様々な訓練を開始。並行して第1期の募集を開始した。パンフレットを作成したものの、車両は“イラスト”、料理は最終決定しておらず、値段は大丈夫か…、東京や大阪での説明会を実施したが不安な日々が続いた。ついに、抽選の日が来た。平均倍率7.2倍。部屋単位の最高倍率76倍だった。あとは、運行開始日までの最終準備。当日の朝まで準備にバタバタしていたが、12時52分定刻に発車した。

これまで、いろいろなトラブルにも遭遇しつつ、人気を保てているのは、ひとえに九州の皆様に支えられていることが一番だと思う。新鮮な食材の提供、沿線で手を振ってお迎えしていただく姿に、乗車いただいているお客様が大変感激し一番の思い出になっている。今後とも、「九州を世界に」で安全に運行を続けたい。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

山中 孝昭 会員

山中歯科医院 院長

◇ ロータリー歴: 40年4か月

◇ 逝去年月日: 2017年5月20日

◇ 享年: 87歳

【次回例会予告】

6月9日(金) 普通例会

- ・ロータリーソング “我らの生業”
- ・クラブ協議会 No.2